

二〇一六年二月七日 年間第五主日

第一朗読 イザヤの1-8

1 ウジヤ王が死んだ年のことである。わたしは、高く天にある御座に主が座しておられるのを見た。衣の裾は神殿いっばいに広がっていた。

2 上の方にはセラフイムがいた。

3 彼らは互いに呼び交わし、唱えた。「聖なる、聖なる、聖なる万軍の主。主の栄光は、地をすべて覆う。」

4 この呼び交わす声によつて、神殿の入り口の敷居は揺れ動き、神殿は煙に満たされた。

5 わたしは言った。「災いだ。わたしは滅ぼされる。わたしは汚れた唇の者。汚れた唇の民の中に住む者。しかも、わたしの目は

王なる万軍の主を仰ぎ見た。」

6 するとセラフイムのひとりが、わたしのところに飛んで来た。その手には祭壇から火鉢で取った炭火があつ

た。

「彼はわたしの口に火を触れさせて言った。「見よ、これがあなたの唇に触れたので

あなたの咎は取り去られ、罪は赦された。」

∞そのとき、わたしは主の御声を聞いた。「誰を遣わすべきか。誰が我々に代わって行くだろうか。」わたしは言った。「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください。」